令和５年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

指導	りんどう晩生品種「いわて中秋のあい」における全茎収穫栽培の適用条件

【要約】晩生品種「**いわて中秋のあい**」において、切り下株の節数を**15 節残して全茎収穫**を行うと、処理翌年の草勢を慣行とほぼ同等に維持でき、**草丈 175 ㎝前後を確保できるほ場**では上位規格を中心とした収量が慣行を上回る。

１　背景とねらい

りんどうは翌年の株の生育を維持するため、収穫をしない花茎を株当たり２～３本程度残すのが一般的である。近年、県で育成された「いわて中秋のあい」は生育揃いが良く、伸長性も優れることから、全茎収穫による収量向上が見込まれるが、その適用条件は不明である。そこで、本研究では、翌年の草勢を確保できる切り下株の条件及び上位規格を中心に収量が向上する栽培条件を明らかにする。

２　内容

(1) りんどう晩生品種「いわて中秋のあい（いわてLB‐５号)」における全茎収穫栽培の適用条件は以下のとおりである。

ア　草勢確保の条件：切り下株の節数 15 節

切り下株の節数 15 節を残すことで、処理翌年の草勢を示す指標である草丈及び花段数が慣行とほぼ同等となる（表１）。

イ　収量向上の生育条件：草丈 175 ㎝前後のほ場

草丈 175 ㎝前後では上位規格を確保しながら慣行よりも株当たり２本程度の増収となる。一方、160 ㎝前後の場合は、規格内収量は増加するものの、上位規格である切り花長 80 ㎝規格の割合が低下し、規格外品が増加する（表１、図１、図２）。

(2) 切り下株の節数 12 節では、草丈が 160 ㎝程度であっても上位規格を中心に慣行以上の収量が得られるが、翌年の草勢が低下し、草丈、花段数ともに慣行を下回る（表１、図１、図２）。

(3) 当年の草勢の強弱は前年（３年生株）の切り下株の節数及び葉枚数の確保程度とほぼ合致する（表２）。

３　活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等　県内全域　ＪＡ営農指導員、農業普及員

(2) 期待する活用効果　株の草勢が確保され、収量が向上する。

４　留意事項

(1) 草丈は年数の経過や気象条件等で変動するので、全茎収穫栽培を適用する際には、草丈のほかに出荷規格やほ場更新のタイミング等も考慮する。

(2) 節数は地際から 15 ㎝より上位を対象とし、15 節残す場合は 15 ㎝+15 節目の高さを計測して、その高さを収穫位置の目安とする。なお、ほ場Ｂの切り下株の高さは 15 節残し区が約 85 ㎝、12 節残し区が約 70 ㎝であった。

(3) ほ場Ｂの４年生株のデータは、今年度の記録的な高温条件下で得られたものである。

５　その他

(1) 関連する試験研究課題

(H31-12)　りんどうの革新的な栽培技術の開発［R1～R5/県単］

(2) 参考資料及び文献等

(R1-指-12)りんどう早生品種「恋りんどう」における全茎収穫栽培の適用条件

６　試験成績の概要（具体的なデータ）

表１　切り下株の節数が翌年の草勢に及ぼす影響（Ｒ２～Ｒ５）

	ほ場Ａ（H30 定植）			ほ場Ｂ（R2 定植）		
	R2(３年生)	R3(４年生)		R4(３年生)	R5(４年生)	
	草丈 (cm)	草丈 (cm)	花段数 (段)	草丈 (cm)	草丈 (cm)	花段数 (段)
慣行区	176.1	165.2	5.8	164.8	134.5	4.2
15 節残し区	174.1	159.9	5.8	163.5	139.4	4.0
12 節残し区	-	-	-	164.3	131.8	3.7

※株当たりの仕立て本数は 10 本。草丈は同一株の中で２番目、３番目の高さの茎を計測
※ほ場Ａは２年生株(R1)時に慣行区は株当たり３本残し、15 節区は切り下株を 70 cm残して全茎収穫した。
ほ場Ｂの２年生株(R3)時は試験区で一律２本収穫

表２　切り下株の節数と葉枚数（Ｒ２～Ｒ５）

	ほ場Ａ（H30 定植）		ほ場Ｂ（R2 定植）			
	R2(３年生)	R3(４年生)	R4(３年生)		R5(４年生)	
	葉枚数 (枚/株)	葉枚数 (枚/株)	節数 (節/茎)	葉枚数 (枚/株)	節数 (節/茎)	葉枚数 (枚/株)
慣行区	304.9	245.7	13.9	214.6	9.2	134.2
15 節残し区	299.7	272.2	14.7	232.1	14.7	249.3
12 節残し区	-	-	12.1	187.3	11.9	184.3

※葉枚数は、完全に枯れている葉を除いて計数

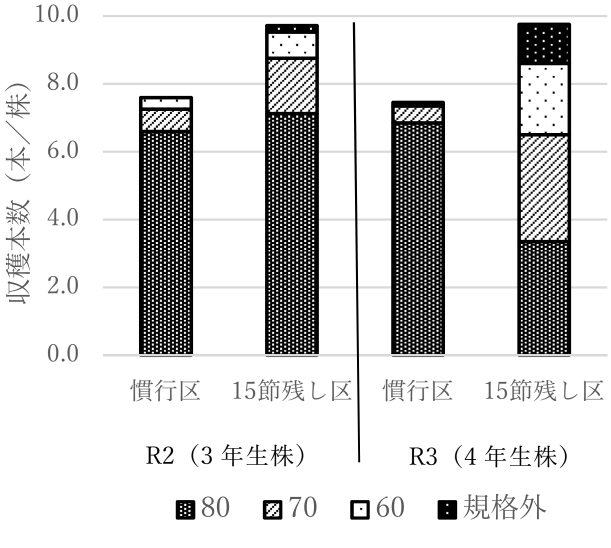

図１　規格別収穫本数
（Ｒ２～Ｒ３　ほ場Ａ　３～４年生株）

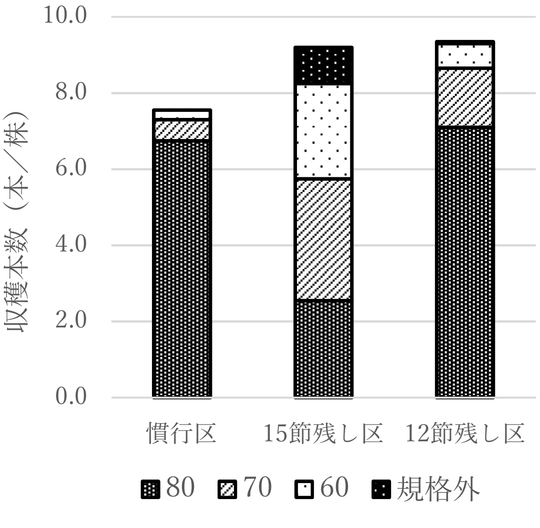

図２　規格別収穫本数
（Ｒ４　ほ場Ｂ　３年生株）

※ほ場Ａの３年生株は草丈 175 cm前後、４年生株は 160 cm程度、ほ場Ｂは草丈 160 cm程度（表１）
※「岩手県青果物等標準出荷規格」に基づき調査（秀品、優品の区別については未調査）
80：切花長 80 cm、花段数５段以上、70：切花長 70 cm、花段数：４段、60：切花長 60 cm、花段数：３段

【担当】園芸技術研究部　花き研究室